



2019年4月19日

各位

会社名：アコム株式会社  
 代表者名：代表取締役社長兼会長 木下 盛好  
 （コード番号：8572 東証第一部）  
 問合せ先：広報・IR室長 岡本 貴史  
 電話番号：03-5533-0861

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2018年5月10日に公表しました2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）の業績予想について、下記のとおり、修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 連結

(単位：百万円、%)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	269,900	77,200	77,700	63,600	40.60
今回修正予想(B)	277,000	57,600	58,200	37,700	24.06
増減額(B-A)	7,100	△19,600	△19,500	△25,900	
増減率(%)	2.6	△25.4	△25.1	△40.7	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	263,453	80,942	81,694	70,572	45.05

(2) 個別

(単位：百万円、%)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	200,300	58,200	62,000	56,900	36.32
今回修正予想(B)	203,600	33,600	37,400	29,900	19.09
増減額(B-A)	3,300	△24,600	△24,600	△27,000	
増減率(%)	1.6	△42.3	△39.7	△47.5	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	195,310	61,767	65,471	63,184	40.33

## 2. 修正の理由

### (1) 連結業績予想の修正について

前回の業績予想に対して、営業収益は、営業貸付金利息、その他の営業収益が計画を上回ったことなどから、2,770億円（前回予想比71億円増）となる見込みです。

営業費用は、金融費用、貸倒関連費用、その他の営業費用が計画を下回る見込みです。一方で、利息返還損失引当金について将来の請求発生予測額を再算定した結果、足元で減少速度が鈍化していることを勘案し、利息返還損失引当金に394億円を繰入れすることといたしました。その結果、営業費用全体では2,194億円（同267億円増）となる見込みです。

これらの結果、営業利益は576億円（同196億円減）、経常利益は582億円（同195億円減）、親会社株主に帰属する当期純利益は377億円（同259億円減）となる見込みです。

なお、期末の利息返還損失引当金残高は1,023億円となる見込みです。

### (2) 個別業績予想の修正について

前回の業績予想に対して、営業収益は、営業貸付金利息、その他の営業収益が計画を上回ったことなどから、2,036億円（前回予想比33億円増）となる見込みです。

営業費用は、金融費用、貸倒関連費用、その他の営業費用が計画を下回る見込みです。一方で、利息返還損失引当金について将来の請求発生予測額を再算定した結果、足元で減少速度が鈍化していることを勘案し、利息返還損失引当金に394億円を繰入れすることといたしました。その結果、営業費用全体では1,700億円（同279億円増）となる見込みです。

これらの結果、営業利益は336億円（同246億円減）、経常利益は374億円（同246億円減）、当期純利益は299億円（同270億円減）となる見込みです。

※業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上